

【基本施策】

1. 魅力ある商業を再生する

【基本方針】

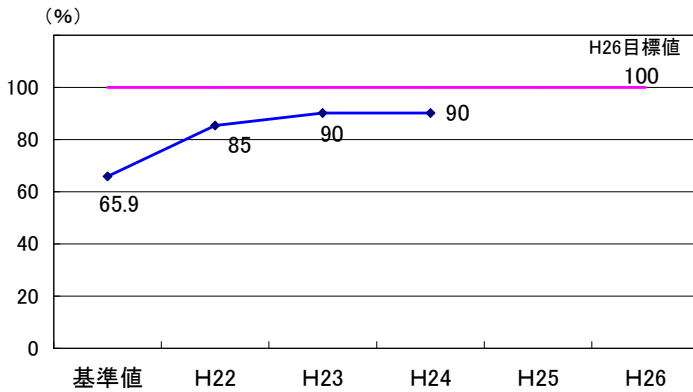
地域住民・学生・事業者・交通事業者・商工会議所・行政機関で組織された委員会により策定した「鯖江街なか賑わいプラン」を本市の中心市街地活性化推進の基本として捉え、プランに掲げられた全事業の完全着手、実行に向けて、地域住民や事業者、学生、行政が一体となって連携・協働し、プランの実現に向けて最善を尽くします。

【実施施策】

◇中心市街地活性化

【施策成果指標】

鯖江街なか賑わいプランの事業実施率



中心市街地の活性化を図るための指標として、鯖江街なか賑わいプランで計画した事業の実施率100%を目指します。

【構成事務事業の達成ランクおよび方向性】

基本施策	構成事務事業の状況												
	実施施策	H24 ランク				H26 方向性							
		A	B	C	小計	事務改善	内容拡大	内容縮小	維持	終了	廃止休止	統合	小計
魅力ある商業を再生する	1	1	1	3	0	0	0	3	0	0	0	3	
中心市街地活性化	1	1	1	3	0	0	0	3	0	0	0	3	

これまでの取組み成果

「鯖江街なか賑わいプラン」に基づき各種事業を展開し、中心市街地の賑わい創出に努めてきた。特に3月から12月の第2日曜日に開催する誠市・ご縁市での賑わいは定着してきた。また、空き店舗対策でも、路面店の空きがほとんどなくなった。さらに、学生の活動拠点「らてんぽ」を中心に若者の感性や行動力を活かした事業を行っている学生団体「with」のメンバー数も増え、活動内容も年々充実してきている。

今後の課題

まつりやイベントによる賑わいを、商業者やサービス業者の収益に結びつける工夫が必要であるが、イベント事業の担い手が特定されており、地域の商店街あげての当事者意識の醸成が急務である。また、今後、アーケードや店舗など施設の老朽化や経営者の高齢化が進む中で、インフラ改修や後継者不足への対応が大きな課題である。

今後の施策展開

(新)「鯖江街なか賑わいプラン」(H25～H27)に基づき、賑わい・憩い・癒しあふれる個性と特徴ある街づくりを行うとともに、「新にぎわいゾーン形成事業プラン」の実施に向けた取り組みを行う。また、商店街との協議・調査活動を行い、中心市街地の活性化策の構築に努める。

【総合評価】

- A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。
- B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。**
- C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。
- D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：B〉